大判プリンター imagePROGRAF 導入事例 ［総合ディスプレイ業］

CAD図面だけでなく、デザインの検証からプレゼンテーション資料の作成にまで活用

株式会社 丹青社 ［総合ディスプレイ業］

株式会社 丹青社
CS事業部デザイン統括部デザイン1部
2課 課長 チーフデザイナー 加茂 紀之さん

一般的に大判プリンターは、CADで作成した図面を出力するモデル（プロッター）と、サインやポスターなどのグラフィックを出力するモデルがラインアップされている場合が多い。しかし、両方の用途で使用する設計事務所やデザイン事務所の場合には、用途別にプリンターを設置するには、コストがかかるし、設置スペースも必要になってしまう。CAD図面出力とグラフィックのいずれの用途で使用しても、十分な性能を持つ『imagePROGRAF iPF785（以下、iPF785）』の導入事例として、丹青社の加茂さんにお話をうかがった。

キレイで速い大判プリンターが必要だった

丹青社は、商業空間をはじめとして、さまざまな空間の企画からデザイン・制作を手がけている。その中でCS事業部は、コマーシャルとコミュニケーションの2つの分野のノウハウを活かした空間づくりを担当する部門だ。
チーフデザイナーの加茂さんが手がけるのは、大型商業施設のデザインだ。
「対象規模が大きいので、他部門よりも大判プリンターで出力する頻度は高いですね。ですから、出力速度は重要です」

「CAD図面も視覚表現のツールなので、プリンターには表現力が求められます」と話す加茂さん。

打ち合わせの際には、数10枚のCAD図面を出力することもあるという。
『iPF785』は排紙バスケットの位置を変えることでさまざまな出力形態に対応できる。

これまでにもキヤノン製の大判プリンターを使用してきた加茂さんだが、印刷速度のほかにも課題を感じていたという。
「プリンターだけでなく、PCやCADも進化しています。CAD上の図形やテクスチャー、文字表現などを、印刷した図面上でもきちんと再現できるプリンターが必要だと感じていました」

新しいプリンターの選定については、印刷速度のほかにも、高い表現力が重要なポイントになった。CAD図面でも微妙な曲線や緻密なハッチングなどを正確に再現する必要があるが、プレゼンテーション資料やデザインの検討にも対応できる再現力が求められたのである。さらに、既存のネットワークやPC、CADソフトなどとの「相性」も重要だった。「費用対効果など、性能以外の要素も総合的に検討した結果『iPF785』を導入することになりました」

サイン類を原寸で出力して、ユーザー視点で見やすさを検証

商業空間のデザイン・設計では、まず、平面のプランニングが決定され、次に立面図やデザインが決定されていくのが一般的だ。しかし、デザイナーの頭の中には、平面図を作り

ながら、立体像がイメージされているという。
「やり方は人それぞれですが、私の場合は、出力した『図面を歩く』ステップを大切にしています。自分が図面の中を歩いていることをイメージしながら、図面に気づいたことを書き込んだり、新しいアイデアをメモしたりしていきます。こうすることで、立体のイメージが鮮明になっていきます。また、俯瞰で全体を一覧できる大判の図面だからこそ気づくことも少なくありません」

また、陳列棚の立面図による検討や、サインのディティール確認などでは、実寸での出力が重要だと加茂さんは強調する。
「案内表示などのサインは実寸で確認しないと気づかないことがあります。視認性や色使いなどは、利用者の目線で見ることが重要なのです」
実寸で出力することにより、関係者が一同に介して、デザインを検討することも可能になる。A0サイズに対応したロール紙に出力できる『iPF785』であれば、長尺のサインも貼り合わせることなしに、高い再現力で出力できる。業務の効率化だけではなく、デザインのチェックを行う上でも、大判プリンターは重要なツールになっているのだ。

パースを見ながら、どの部分に使われるサインなのかを確認し、検討していく。

プレゼン用のパース出力を内製化、社内だから直前でも対応できる

再現力の高い『iPF785』は、プレゼンテーション用ツールの内製化でも活躍している。
「デザインの検証でも大判プリンターによる出力を利用していますが、もっとも効果があるのは、プレゼンテーションのときかも知れません。パースなどはA3サイズよりもA0サイズの方が迫力がありますし、お客さまにも説得力をもって伝えることができます」
ただし、必要なのは大きさだけではない、と加茂さんは指摘する。
「ただ大きいというだけでは、説得力は生まれません。大きさに相応しい表現力が伴っていなければ、効果はありません。その点、『iPF785』は十分な表現力が備わっていると感じています」

クライアントへの説得力が重要なのは、コンペでのプレゼンテーションだけではない。プロジェクトの進行中や、継続した顧客に対して新しい提案を行う際でも、効果的なプレゼンテーションツールは必要だ。
大判のプレゼンボードを内製化することで、社内検討の時間を増やすことができ、より精度の高い提案が行えるようになるのだ。

最新版のVectorworksの導入で生産性がいっそう向上

丹青社では、MiniCad時代からエーアンドエー社*のCADソフト「Vectorworks」を活用している。今回、『iPF785』とともに、WindowsとMac OSの両方に対応し、64bit化された最新版の『Vectorworks 2015』の導入も行っている。
「第一印象は、軽快な動作です。PCの性能に依存する部分もあるのでしょうが、画面のスクロールやウォークスルーなどが、まったくストレスなく行えます」
*エーアンドエー㈱は、キヤノンマーケティングジャパングループです。

加茂さんは、平面図や3Dモデルの作成だけでなく、打ち合わせ資料やプレゼンテーション資料の作成にも『Vectorworks』を活用しているという。
「平面図の中に3Dモデルや家具などの画像を貼りこむことができるので、簡単な打ち合わせ資料であれば、ほかのアプリケーションを使う必要がありません。また、最新版では、画像をトリミングできるイメージクロップ機能が搭載されたので、画像の貼り付けに必要だった事前処理が不要になりました。すべての機能を使うわけではありませんが、欲しい機能はすぐに見つけることができる。かゆいところに手が届く、手放すことができないツールになっています」

打ち合わせ用の図面から担当者ごとの実施設計まで、『Vectorworks 2015』だけですべての図面を管理できる点を高く評価しています。

■ imagePROGRAFとVectorworksが組み込まれたワークフロー

ほぼすべての作業で、imagePROGRAFとVectorworksが使用されている。

新本社での新しいワークスタイルにも対応

丹青社では、2015年9月に新本社への移転を予定しているという。移転を機に、コミュニケーションのあり方や働き方を見直していくという。
「今後、本格化していくクラウドの活用でも、クラウドと親和性の高い『iPF785』には期待しています。また、これまでは原寸での出力でしたが、拡大出力することで、より詳細なディティール検討に活用することも考えています」
『iPF785』の高い表現力によって、これまでにはなかった活用方法も生まれそうだ。
これからも、キヤノンの大判プリンターと『Vectorworks 2015』は、お客様の声を確実に反映して進化を続けていく。

「高い表現力を活かした拡大出力など、新しい使い方ができると期待しています」

■ 使用機種

imagePROGRAF iPF785

- A0ノビサイズ対応
- 5色カラー（MBK／BK／C／M／Y）
- 320GB HDD搭載
- HP-GL／2、HP RTL対応
- A1サイズ出力約21秒、同インクコスト約8円
- 本体標準価格：648,000円（税別。専用スタンド、排紙バスケット含む）

imagePROGRAF
iPF785

Vectorworks 2015 (Fundamentals)

Vectorworks 2015で強化された印刷機能

Vectorworks 2015では、パブリッシュコマンドに、取り出しフォルダごとに保存するためのオプションが追加されている。また、イメージファイルの出力形式もPDFに加えてJPEGにも対応し、より柔軟な出力が可能になっている。

- 本体標準価格：273,000円（税別）

Tanseisha

■ 株式会社　丹青社

○本　社：東京都港区港南1-2-70
　　　　　品川シーズンテラス19F　〒108-8220
○設　立：1959年12月25日
○資本金：40億2,675万657円（2015年1月31日現在）
○上　場：東京証券取引所市場第一部（証券コード:9743）
○従業員：1,118名（連結・2015年1月31日現在）
○ＵＲＬ：http://www.tanseisha.co.jp

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

キヤノン イメージプログラフホームページ
canon.jp/imageprograf

キヤノンお客様相談センター
大判プリンター
（imagePROGRAF）　**050-555-90063**

受付時間〈平日・土曜日〉9：00～17：00
（日曜祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。）
※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-5428-1317をご利用ください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために	●ご使用の前に取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 ●表示された正しい電源・電圧でお使いください。

TOP PARTNER
キヤノンは、Jリーグのトップパートナーです。

●お求めは信用のある当店で

2015年9月現在

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6　CANON S TOWER